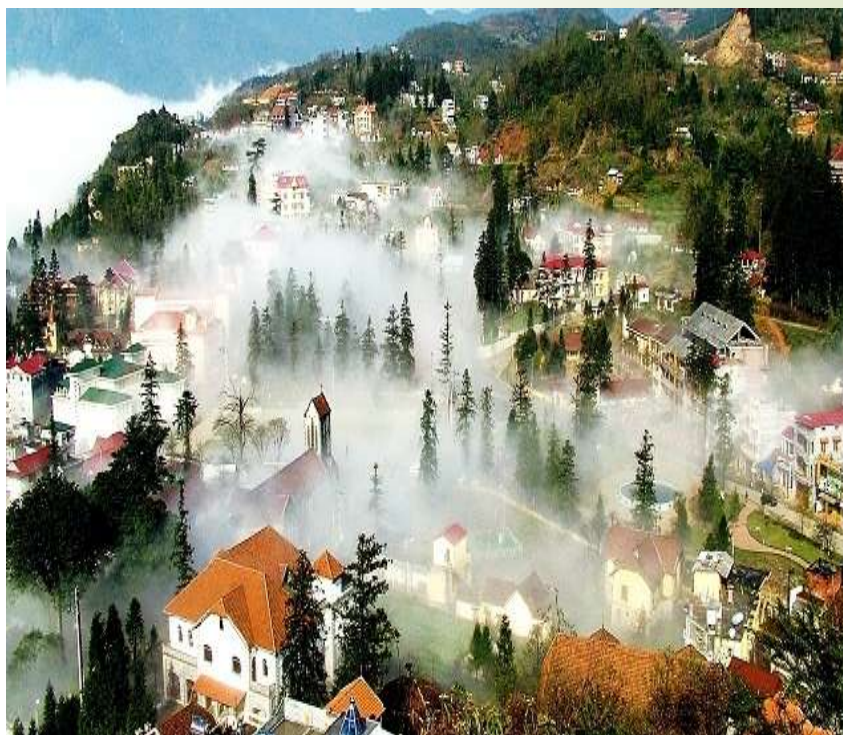


ベトナム人材市場から独自のニュースを毎月お届け！！



HR-Link ニュースレター

2020年7月号

7月からの公務員最低賃金増加見送りへ

国会は7月からの公務員や軍人の最低賃金と年金の引き上げを見送ることを決議した。引き上げの時期は経済の状況を鑑みて改めて国会に提案するよう政府に求めることになっている。公務員の最低賃金は昨年10～11月の時点で現行の149万 VND（約6830円）から+7%増の160万 VND（7340円）に引き上げることが決まっていた。

討論の過程で引上げを見送るのは公務員や軍人の最低賃金のみとし、年金は予定通り引き上げを求める意見があったことや、引き上げ時期を12月末または年内とする意見があったことも伝えている。国会は政府に対し、国内外への出張費の削減や経常的経費の削減に努めるよう求めている。

HCM オフィス需要に変化

ホーチミン市ではコロナウイルスの影響により、賃貸オフィスの需要に変化が起きている。Aクラスの賃貸オフィスの空き室率が最も高く、月額賃貸料も下がっているという。この傾向は今年の下半期にも続くと考えられており、不動産仲介企業の悩みの種となっている。

この背景としてコロナウイルスの社会的隔離政策の結果、自宅でのリモートワークが推奨されたことが挙げられる。実際に実施した企業の中で、リモートワークでそれほど仕事への影響を感じなかった企業が相当数あり、コスト削減のためにオフィスの賃貸料を見直す一つのきっかけになったとみられている。

この影響により、これまでAクラスのオフィスを使用していた企業がBクラスのオフィスへ引っ越ししたり、より賃料の安い郊外のオフィスに引っ越すところも多いようだ。Bクラスのオフィスについては賃料が増加しており、ハノイのAクラスのオフィスに相応する賃料となっている。

目次

特集記事

最低賃金増加見送りへ	1
HCM オフィス需要に変化	1
世界初の金メッキホテル誕生	2
現地採用の勤続年数とは	2
ベトナム産ライチが日本へ	3

今号のハイライト

時事ニュース	2
街角便り	3
今月の一品	4



ハノイに世界初の金メッキホテル誕生

世界初の金メッキホテルがハノイのバーディン区に誕生した。名前を Dolce By Wyndham Hanoi Golden Lake といい、現在オープニング記念で一泊 250USD へのキャンペーンを行っている。

オープニングのセレモニーには在ベトナムアルメニア大使の他、ミスベトナムのドー・ミー・リンなどが出席している。

同ホテルの客室は全部で 360 室で投資総額約 1 億 USD (約 107 億円) とされている。ハノイ市で開催予定の F1 グランプリに合わせて開業する予定だったが、コロナウイ

スの影響により同グランプリが延期されたため、ホテルの開業も延期になっていた。

同ホテルでは宿泊の他、会議場のレンタルや館内見学ツアーなども行っており、ハノイの名物料理を楽しめるツアーも催行している。

ベトナム観光協会の副会長は豪華ホテルの開業はベトナム観光インフラを発展させるうえで重要な物だとし、同ホテルの存在が観光客の誘致につながると話している。

[vnexpress 3/7/2020]

時事

5 月の電気代急増:メーターの誤作動の疑い

5 月の電気代が各家庭で急増しており、メーターの故障などに関する調査希望が相次いでいる。ベトナム電力グループによると 30~300%前月度より増加した世帯からの苦情が出ているという。

新型コロナウイルス対策で 3 月下旬から 4 月の間は自宅での過ごす時間が多かったため、その期間中の電気代増加については説明がつくが、自粛期間明けの 5 月に電気代が急増していることを不審に思った世帯が多いようだ。

5 月からは気温が上昇し、各世帯でエアコンを使用するなど例年で世帯当たりの電気代が増加する時期ではあるが、その上昇率が高すぎるということで、首相は同電力会社に調査を行うよう指示した。もし意図的な不正などが発覚した場合は厳格な処分を下すよう告げている。

バンドン省にある某世帯では 1 か月の電気代が 8930 万 VND (約 41 万 5000 円) となり話題となった。

現地採用者の勤続年数は？

現地採用で日本人を雇う際、できる限り長く働いてほしいと思うのは当然だと思います。特にその人材が優秀であればよりそう思うことでしょう。では実際に現地採用として働く人はどの程度の期間働くことが多いのでしょうか。今回はその部分についてお伝えします。

・一般的には 3~5 年

雇う側も雇われる側もとりあえずそれぐらいの期間働けば、納得する人が多いようです。働く側はそれぐらいの期間の就業で大よそ会社での業務を一通り経験したという感覚になるようで、これ以上の経験や収入などを求めて転職に至りやすくなります。

・現地採用の 10 年戦士とは

現地採用で 10 年以上同じ会社で勤めている人もいます。このようなタイプの人は既に生活の拠点がベトナムにある方や、会社の中でその人が重要な役割 (現地代表者など) を務めていることが多いです。現地採用で現場の運営管理が賄えれば日本本社でもコスト面でかなり節約ができるかと思えます。

・若手に長期就業を求めることは難しい？

20 代の若手でベトナムで働きたいと思う人は増えています。しかしそういった人に長期就業を望むのは簡単とは言えなさそうです。20 代で海外就業を希望する人は 30 歳に入り始めるころに本帰国を検討する方が多いです。と言うのも日本側で再就職を考えた際に転職のしやすさなどが関わってくるからです。特に若い方は経験の一つとして海外就業を望む方も多いので、長期就業をしたいかどうかという部分は全く別物として考えた方が良さそうです。

・1 年以内に退職する現地採用者も多い

1 年以内に退職してしまう現地採用者も少なくはありません。これは本人の問題だけではなく受け入れる企業側の問題もありますので、書類上で判断するのは難しいところですが、お互いに求めるところのミスマッチから早期退職になってしまったという話もよく聞きます。ベトナム国内で短期間の転職を繰り返している人は敬遠される傾向にありますが、1 社程度であればそこを度外視して検討してみても問題ないかと思われま

す。現地採用は不安定な立ち位置ですので、働く側もその点を考慮しながら生きている人も多いです。企業側も長く就業してもらいたい場合はそれなりの配慮が必要になってくるかと思



街角便り



工科大生：違法薬物の原料を栽培

理系の名門校として知られるハノイ工科大学の男子学生が麻薬の原料として使用される「マジックマッシュルーム」を自宅に栽培していたとしてハノイ市警察が処分したことを明らかにした。

栽培していた学生はドンター区に居住する19歳で、客にマジックマッシュルームを販売するところを現行犯で逮捕された。同容疑者は麻薬密造、密売、所持の容疑で捜査を受けている。

家宅捜索では栽培されていたマジックマッシュルームを証拠物件として押収している。調べに対し同容疑者は2018年、当時高校生だったころからストレス解消目的で使用していたと供述している。

工科大学ではバイオテクノロジーを専攻しており、その学んだ知識を生かして自宅に栽培するようになったという。自宅では自分で使用する用と販売用を栽培しており、今年の5月に販売目的で広告を出していたことがきっかけで捜査対象となったようだ。

近年ベトナムは青少年の薬物使用が問題となっており、薬物中毒者の更生施設でも低年齢化が進んでいる。国が主導して薬物使用の厳禁をメディアなどを通して啓発しているが、薬物の流通を中々根絶できない状況だ。

ベトナム産のライチは日本で普及するか？

今年からベトナム産のライチが初めて正式に日本へ輸出されました。これまで日本では輸入先として主に中国が選ばれていましたが、今年の初輸入を皮切りに今後入荷量を増やしていければと考えているようです。今回はベトナム産のライチについて記事にします。

・ライチってどんなフルーツ？

日本のスーパーなどでは直接店頭と並ぶ機会が少ないので馴染みのない方も多いかもしれません。日本ではどちらかと言うとライチ風味の加工食品（ゼリーやジュース）などが出回っていますので、味は何となく分かるけど生のライチは食べたことがないという方も多いと思います。ライチは主に5月～7月にかけて収穫の時期とされますが、冬は気温が低く、夏は高温の地域でのみ栽培できるとされています。中国でも栽培が盛んですが、ベトナムに近い南の地域でのみ栽培がされています。またベトナムでは北部でのみ栽培されており、常夏の南部では栽培することができません。



・どうして中国産からベトナム産へ？

中国の件費が高騰して仕入れ費用が高くなっているということもありますが、根本的にライチの収穫量自体が十分ではないという事情があるようです。実際ベトナムは中国にも大量のライチを輸出しています。中国では人口に対してライチの供給が追い付かないということでベトナムからの輸入も取り入れているのだとか。また近年ではベトナム産のフルーツ（ドラゴンフルーツなど）が日本に輸出されて好評を得ていることから、果物の輸入に対する一つの道ができてきているのも理由の一つだそうです。



今月の一品



レモンティ
(trà chanh)

今月はレモンティです。日本でもよく目にしますので特別珍しいものではありませんが、こちらのレモンティは種類が豊富です。というのも近年若者向けにレモンティの専門カフェが軒を連ねており、多くの学生などで賑わっています。その理由は安さにあり、人気のタピオカミルクティよりも更に安いということで、お金の無い学生の普段使いとして人気があります。レモンティの種類は濃縮のシロップを使用したインスタント的なものから生のレモンを使用した本格的なものまで様々です。またその店のオリジナルレモンティなども人気があります。一杯 15000VND (75 円) ~

お問い合わせ

HR-Link.Vietnam

15Fl., TTC Bldg., 19 Duy Tan St., Dich Vong Hau Ward, Cau Day Dist., Hanoi (ハノイ本社)

553 Xo Viet Nghe Tinh, Binh Thanh District, Hochiminh City (ホーチミンオフィス)

東京都中央区日本橋箱崎町
32-3 11F 日本 HR リンク株式会社 (日本拠点)

Tel: (84-24) 3795-7037 (ハノイ)
Fax: (84-24) 3795-7038 (ハノイ)
Web: <http://hr-link.com>

HR-Link.Vietnam は、人材紹介事業を通じて企業の事業拡大と個人の自己実現をサポートし、豊かな社会づくりに貢献します。

・ベトナムではどのような食べ方がある？

冒頭でお話したように日本では加工食品で口にする人が多いかと思いますが、ベトナムではライチを使った加工食品はあまり多くありません。ほとんどの人がそのまま生で食べていると思います。ライチは3か月ぐらいの季節限定のフルーツなので、シーズンの時期はキログラム当たり300円前後と非常に安価で買うことができます。またお酒をつけるためのフルーツとしても利用されており、ライチ収穫量が多いバクザン省のライチ酒は省の特産にもなっています。



・食べ過ぎると体に良くない？

ライチは少量であると暑気払いの効果があると言われますが、あまり食べすぎると逆に発熱や嘔吐、下痢の症状を引き起こすことがあると言われています。一般にこれをライチ病と言われているみたいですが、ベトナムの医者も「一日に10粒程度までに抑えるように」と言っています。ベトナムでライチを購入する際は10粒以上買うこととなりますので注意したいところです。

今回ライチの日本輸出は初めてということで、輸出用の良い出来栄の物を厳選して出荷したようです。メディアでもその様子が報道されており、現地のライチ業者も新しい市場として定着できればと意気込んでいました。

本ニュースレターに関するご要望、ご意見、その他弊社人材に関するお問い合わせは左記の連絡先または info@hr-link.jp までお願いいたします。